

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	11月												12月							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~5日	11月 ~12日	11月 ~19日	11月 ~26日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	30	46	63	57	67	75	49	29	47	8	16	10 (1)	8
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	37	55	103	120	108	102	56	52	49	15	20	18	27
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	2	2	7	7	13	25	6	12	15	1	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	10	13	14	21	8	12	15	18	21	2	7	5	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	14	15	14	10	11	11	9	5	4	1	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0	1	0 (1)*	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\*その他は、アエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第47週(11月20日~11月26日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			1		3		3
三類	0	発生なし	0							
四類	2	つつが虫病	1	1						
		デング熱	1					1		
五類	8	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1		
		急性脳炎	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		梅毒	5			1		2	1	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり25.72人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が52件報告されています。

県内では、西部東、東部及び北部保健所管内で警報開始基準値(定点当たり30)を上回ったため、広島県は11月24日、県内に「インフルエンザ警報」を発令しました。

手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 咽頭結膜熱

定点当たり4.52人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

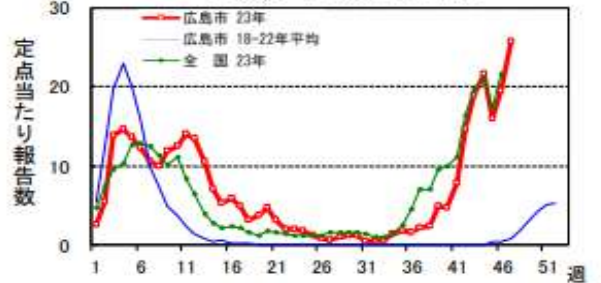
3 感染性胃腸炎

定点当たり5.48人の報告がありました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

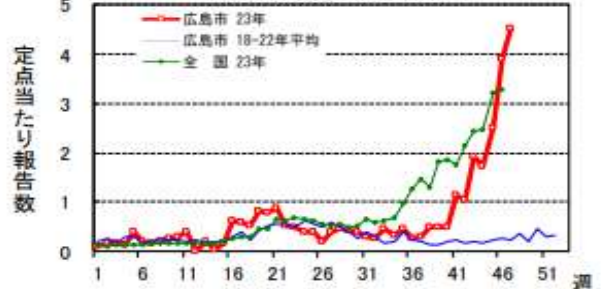
4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.64人の報告があり、前週と比べて増加しました。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減		
														急増減	増減	微増減
インフル	インフルエンザ	926	25.72	0.84		◇	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.22		◇	急増減	↑	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
	新型コロナ(COVID-19)	59	1.64			◇		流行性耳下腺炎	-	-	0.04		◇	増減	↗	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.20		◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		◇	微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	104	4.52	0.23		◇		流行性角結膜炎	13	1.63	0.28		◇	横ばい	↔	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	3.57	1.27		◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	感染性胃腸炎	126	5.48	4.07		◇		無菌性髄膜炎	-	-	-		◇			
	水痘	1	0.04	0.20		◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03		◇			
	手足口病	15	0.65	0.74		◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		◇			
	伝染性紅斑	-	-	0.13		◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		◇			
	突発性発しん	4	0.17	0.24		◇							◇			

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	114	80歳代・2人、100歳代・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	11	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	60歳代
5	梅毒	2	254	20歳代、30歳代